

農山漁村地域整備計画（ふくいの森づくり整備計画） 事前評価結果

計画の概要	計画の名称	ふくいの森づくり整備計画
	計画策定主体	福井県
	対象市町村	福井市、永平寺町、あわら市、坂井市、大野市、勝山市、鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町、敦賀市、美浜町、若狭町、小浜市、高浜町、おおい町（17市町）
	計画の期間	平成27～31年度（5年間）
	計画の目標	<p>現在、県内のスギを中心とした人工林については資源が充実しつつある一方、所有規模が小さく、境界が不明確などの要因により、間伐等の森林施策が進まず、また、間伐材の搬出率も約4割と低迷している状態にある。</p> <p>一方、水源かん養機能や土砂災害防止機能など森林が有する公益的機能の発揮に対する県民の期待は高まっている。</p> <p>このため、施業地の集約化や基幹となる林道と作業道とのネットワーク化など林内路網の整備を進め、利用間伐等の森林施策を計画的かつ効率的に実施することにより、県産間伐材生産量の増加を目指す。</p> <p>また、山地災害の被害性の高い地区において、治山施設や森林整備を重点的に実施し、災害に強い森づくりを推進することにより、山地災害防止機能の向上を図る。</p> <p>さらに、スギ人工林等を伐採し、花粉症対策苗木等を植栽することにより、花粉の少ない森林への転換を図る。</p>
	定量的指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>間伐材生産量 現状値(H25) 75千m<sup>3</sup>/年 から 目標値 140千m<sup>3</sup>/年まで増加させる。</li> <li>山地災害危険箇所を抱える142地区のうち、40地区について山地災害防止機能等を確保する。</li> <li>花粉症対策苗木等の植栽 現状値(H26) 0ha から 目標値 24haまで増加させる。</li> </ul>
	対象事業	森林整備事業、治山事業、漁場保全の森づくり事業
	関連事業	森林環境保全整備事業、林業専用道整備事業、道整備交付金
全体事業費	21,679,997千円	

	項目	評価細目	評価	説明
評価	目標の妥当性	1. 関連する計画との整合性が図られているか	○	間伐材生産量については、「ふくいの森林・林業基本計画」の数値目標を定量的指標としている。「森林整備保全事業計画」の成果指標である山地災害防止機能等が確保される地区数を定量的指標としている。
		2. 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	地域の課題を整理し目指すべき方向性を示した、「ふくいの森林・林業基本計画」の山ぎわスッキリ県産材倍増プロジェクト、および次代につながるふくいの森と花プロジェクトと整合している。
	整備計画の効果・効率性	1. 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	施業の集約化と路網の整備を進め、計画的に間伐等を実施することは、利用間伐を促進させ、間伐材生産量を増加する定量的指標と整合している。整備計画の目標である、山地災害の被害性の高い地区において山地災害防止機能の向上を図ることは、定量的指標と整合している。
		2. 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	個別事業の実績は、事業主体別または箇所別に管理しており、整備計画の計画期間で達成した量は的確に把握できる。
		3. 構成事業の実施による効果の評価するための指標として適切なものとなっているか	○	各事業の実施により発現する効果として適切な指標となっている。
	整備計画の表現可能性	1. 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	市町、地域住民との協力体制が整い、事業実施が可能な計画となっている。
		2. 地元の機運が醸成されているか	○	事業は、地元の要請に基づき実施されるため、機運は醸成されている。
	評価結果	総合的に検討した結果、本計画は妥当と判断される。		